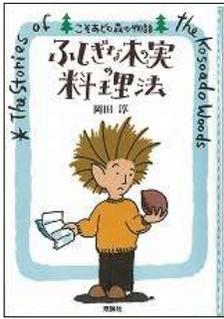


ふしぎな木の実の料理法

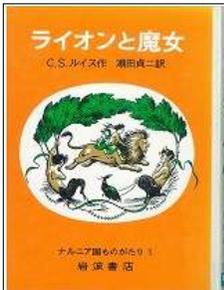
岡田 淳/作 理論社



こそあどの森で暮らす元気な少年スキッパーの家へ、ポアポアという木の实と手紙が届きます。その手紙には木の実の料理法が書いてあるのに、大切なところがぬれて読めません。スキッパーは料理法を知るために、森で暮らすみんなの家を訪ねて回ります。謎とときの楽しさと登場人物のユニークなキャラクターで、親しみやすいシリーズの第1作。

ライオンと魔女 ナルニア国ものがたり 1

C・S・ルイス/作 瀬田 貞二/訳 岩波書店



ルーシーたち4人の兄弟姉妹が、妖精や巨人、ものいうけものなどの住むナルニア国を、白い魔女の支配から救う冒険ファンタジー。せまり来る追っ手、弟のうらぎり、そして偉大なアスランの死など、いくつもの危機が彼らをおそいますが…。全7巻のシリーズ第1巻目。

この湖にボート禁止

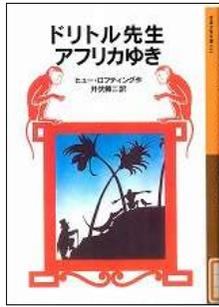
ジェフリー・トリーズ/作 多賀 京子/訳 福音館書店



湖のそばの山荘に引っ越してきた翌朝、ビルとスーザンの兄妹は、ボートで湖にうかぶ小島に行ってみました。ところが、島の持ち主アルフレッド卿は、二人に島に上陸することも、湖にこぎ出すことも禁止しました。島には秘密があるにちがひありません。

ドリトル先生アフリカゆき ドリトル先生物語全集 1

ヒュー・ロフティング/作 井伏 鱒二/訳 岩波書店



ドリトル先生は、動物の言葉が分かるお医者さん。聞くことも話すこともできます。そんな先生をしたっていろいろな動物がやって来ます。ある日、ツバメからサル仲間（エスキモー）がはやっていることを知らされた先生は、家族である動物たちを連れて船でアフリカに向かいます。

いなばのしろうさぎ 日本の神話 第四巻

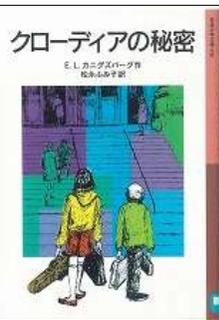
舟崎 克彦/文 赤羽 末吉/絵 あかね書房



日本の神話を絵本にしたシリーズの第4巻。大国主の命は、八十神とよばれる兄弟たちに從って、いなばの国の八上姫の元へと旅をしていました。命は海辺で、さめに皮をむかれたうえ、八十神たちにだまされて苦しんでいるうさぎを助けてやりました。

クローディアの秘密

E・L・カニグズバーグ/作 松永 ふみ子/訳 岩波書店



毎日同じことのくり返しにあきあきしたクローディアが、弟のジェイミーと家出した先は、なんと、快適で美しい場所メトロポリタン美術館！ ねるのは美術品のベッドで、噴水がおふるかわり。そんな中、二人はある彫像の重要な秘密をさぐり始めます。

冒険図鑑

さとうち 藍/文 松岡 達英/絵 福音館書店



野外で生活するために知っておくと役に立つことが、豊富なイラストでわかりやすく書かれています。テーマは、歩く・食べる・危険との対応など6つです。キャンプなどの野外活動だけでなく、ふだんの生活でも、さらに災害の時などにも使える知識が満載です。

モモ

ミヒヤエル・エンデ/作 大島 かおり/訳 岩波書店



モモは特別な才能を持つ女の子。モモに話を聞いてもらうだけで、いい考えがうかび希望がわいてきます。ある日、町に時間どろぼうが来て人々の時間をうばい始めると、だれもがいそがしがおしゃべりさえ楽しまなくなりました。モモは時間を取り返そうとします。

ふたりのロッテ

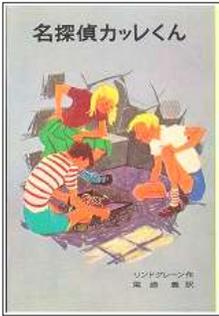
エーリヒ・ケストナー/作 高橋 健二/訳 岩波書店



夏休みのキャンプで出会ったロッテとルーゼは見分けがつかないほどそっくり。ロッテはミュンヘンで母と、ルーゼはウィーンで父と二人暮らしでした。二人には何か秘密があるようです。二人は入れかわって家に帰り、連絡を取り合うことにしました。

たんてい
名探偵カッレくん

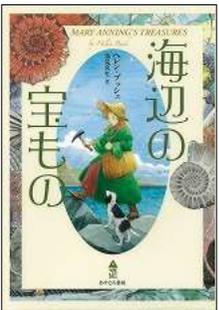
アストリッド・リンドグレーン/作 尾崎 義/訳 岩波書店



カッレくんは探偵にあこがれている少年です。ある日、町にエイナルというあやしい男がやって来ました。カッレはこの男が宝石どろぼう いちみ泥棒の一味であることをつきとめます。ところが、友達のアンデスやエーヴァ・ロッタといっしょに一味につかまってしまいました。

うみべ
海辺の宝もの

ヘレン・ブッシュ/著 島見 真生/訳 あすなる書房



約200年前のイギリスに、化石集めが大好きな女の子がいました。時間があれば海辺を歩き回っていたメアリーは、12歳の時に世界初の巨大な爬虫類はちゅうるいの化石を発見します。化石発掘に生涯はくつくつ しょうがいをささげ、今では世界中の博物館はくぶつかんに化石が展示てんじされている女性の、子ども時代を中心につづった伝記です。

ゆかした
床下の小人たち 小人の冒険シリーズ 1

メアリー・ノートン/作 林 容吉/訳 岩波書店



イギリスのある古い家の床下に住む小人の一家は、生活に必要なものはすべて人間から借りてこっそり暮らしていました。ところが、人間まがたの姿を見られ、家を追われることになりました。小人たちのその後は、『野に出た小人たち』ほか『小人の冒険』シリーズに続きます。

保護者の方へ

このリストには、小学校5・6年生が読んで楽しいと思われる本、この時期の子どもたちに読んでほしい本を12冊紹介してあります。これらの本を手がかりにして、子どもたちが読書の魅力を味わい、さらにいろいろな本への関心を広げていければ幸いです。

また、自分からなかなか本を手にしないうちのお子さんには、保護者の方が本のおもしろさを話してあげたり、出だしを読んであげたりして、興味を引き出すことも大切なことかと思えます。

そして保護者のみなさんからもお子さんと一緒にリストの本をお楽しみいただき、本を通してお子さんと心のつながりがさらに豊かに広がることを願っています。

先生方へ

新潟市でも、朝読書を行う学校が多くなりました。その時どんな本が向いているのか、このリストが一つの参考になればと考えて作りました。子どもたちが読んで楽しいと思う本をリストアップしてあります。もちろん、これ以外にも楽しい本がたくさんありますので、お探しの場合はいつでも図書館にご相談ください。

子どもたちが読書に親しみ本好きになる一番のきっかけは、おうちの方やまわりの大人、学校の先生や司書の皆さんが本を紹介してあげることではないでしょうか。

このリストを、子どもたちと本をつなぐ際の参考にしていただければ幸いです。

西川図書館ブックリスト

ほんのとびら

小学校 5・6 年生向け

その1



- ◆にしかわ西川図書館（学校図書館支援センター）
〒959-0422 新潟市西蒲区曾根 2046 番地
電話：0256-88-0001 FAX：0256-88-2458
- ◆いわゆる岩室図書館
〒953-0132 新潟市西蒲区西中 889-1
電話：0256-82-4433 FAX：0256-82-4635
- ◆かたひがし潟東図書館（潟東ゆう学館 1 階）
〒959-0505 新潟市西蒲区三方 10
電話・FAX：0256-70-5141
- ◆まき巻図書館
〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲 4262-1
電話：0256-73-5066 FAX：0256-73-6790